



2022年 5月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 桑野 隆司
(コード番号：7066 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 栗田 智代
(TEL. 03-6811-2211)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月12日に公表した2022年9月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年9月期通期連結業績予想値の修正（2021年10月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,490	△213	△204	△287	△63.27
今回修正予想 (B)	3,490	40	63	37	7.97
増減額 (B - A)	0	253	267	324	
増減率 (%)	0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	3,130	101	137	52	

2022年9月期通期個別業績予想値の修正（2021年10月1日～2022年9月30日）

	売上高	経常利益	親会社株主に帰 属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,486	△93	△195	△43.10
今回修正予想 (B)	2,486	139	83	17.89
増減額 (B - A)	0	232	278	
増減率 (%)	0.0	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	2,758	204	128	

2. 修正の理由

当社の主要なサービスの提供先である通信キャリアの店頭チャネルにおいて、店頭に設置したタブレット端末を通じてお客様とオンライン上で非対面型の接客を行う「オンライン接客サービス」の需要が昨年度以降増加しております。昨年度においては、急速なサービスの拡大を受け、不足人員を外部のリソースで賄ったことから外注費が上昇しておりましたが、今年度において、継続的な運営体制の構築を行う中で人員の内製化が進んだことから収益率の改善が行われました。

このような結果、営業利益および経常利益について、今後も継続的な収益改善が見込まれること、また、当初見込んでいた広告宣伝等の投資計画を見直したことから、それぞれ上表のとおり前回予想値を上回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記の理由に加え、2022年4月12日付「株式会社イーフロンティアの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2022年5月1日付で株式会社イーフロンティアを連結子会社化したことにより負ののれんが発生したことから、上表のとおり前回予想値を上回る見込みであります。

なお、売上高については、上述の株式会社イーフロンティアの連結子会社化、2022年4月21日付「事業譲受に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2022年5月2日付でTime Ticket GmbH社からV-tuberプロダクション事業の事業譲受を行っておりますが、事業環境が不確実のため現時点においては据え置きとさせていただき、今後業績への重大な影響が認められる場合には速やかにお知らせいたします。

以 上

（注）上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えいただきますようお願い申し上げます。